

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成27年 7月 24日
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 京都府福知山市長田野町二丁目21番地		氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 武田ヘルスケア株式会社 代表取締役 有本 恵一郎
環境マネジメントシステムの名称	環境マニュアル JIS Q14001:2004/ISO 14001:2004	
適用範囲	武田ヘルスケア株式会社でのあらゆる活動、製品及びサービス	
導入年月日	<登録日> 平成19年 11月 16日	
認証番号	07ER-674	
基本方針	武田ヘルスケア株式会社は、武田ヘルスケア コンプライアンス・プログラムに則り、かけがえない地球環境を守るために、全ての企業活動において環境への影響を重視し、社会的使命として積極的かつ継続的に、環境を保全し、環境マネジメントシステムを向上させます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<p><2015年度目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 省エネルギー(電気・ガス使用量の削減) 2012年度稼働日数当たりの使用量を維持する 2. 省資源(用水使用量の削減) 2012年度上水工水使用量を維持する 3. リサイクル使用の推進(廃棄物のリサイクル率をアップする) リサイクル率のアップを検討し、リサイクル率を65%にする 4. リサイクル使用の推進(汚泥のリサイクル処分化) 年間排出量の全量をリサイクル処分する 5. 廃棄物の低減 2012年度廃棄物量の3%削減 6. 法規制の順守(届出の100%順守) 環境関連法規制に関する届出を100%実施する 	
目標を達成するための取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 圧空漏れ箇所修理によるコンプレッサーの効率的運転・不要照明消灯・空調機運転制限・原料の試験省略・全員参加の環境活動手順の順守など 2. ブロー水の回収・使用量の把握による節水の啓発など 3. 分別確認表による確認・コピー用紙分別廃棄・汚泥リサイクル(全量)実施など 4. 年間排出量の全量の汚泥をリサイクル処分する 5. 廃糖衣液の削減検討・秤量袋の適正化・保管物及び運搬物固定方法見直しによる廃棄物量削減・コピーの裏刷り推進など 6. 届出業務管理表を用いた順守状況確認など 	
目標を達成するための取組の進捗状況	各部門共、全員参加の環境活動手順書の順守に併せて、部門として不要役機器の停止・空調機の運転制限・ボイラ給水温度昇温によるボイラの効率的運転・原料試験省略の実施等、電気・ガス使用量削減に取り組んだ。また、無駄なコピーの防止、両面印刷の推進、裏刷り紙の使用を継続して推進、廃棄物としては、金属・ガラス瓶・コピー用紙・新聞・雑誌類・ダンボール・空瓶・包材紙管等・廃プラスチック(ポリ袋類)の継続的なりサイクル処分に併せ、2013年度から汚泥のリサイクル処分を開始し、年間排出量の8ヶ月分をリサイクル処分した。また、廃プラスチック(PTP屑類)のリサイクル処分化への取り組みとして、処分・収集運搬業者選定の候補を検討した。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	「全員参加の活動手順書」を順守し、全社の環境(省エネルギー・省資源・リサイクル使用の推進・廃棄物の低減・法規制の順守)達成のため、各部門共、部門の目的目標を設定し、概ね計画通りに取り組んだが、省資源(用水使用量の削減)及びリサイクル使用の推進(廃棄物のリサイクル率をアップする)、廃棄物の低減については、目標未達となった。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	毎年4月に関連する環境法規制の順守状況を定期的に評価するため、ISO事務局が「環境法規制等登録表」に従い、順守評価し、環境管理責任者に報告する。 平成26年度は、特に問題ない結果であったが、登録初年である毒劇物・毒劇薬の運用上において、実施担当部門の見直しが必要なが判明したため、定期見直し時に改訂を行った。(2015年7月1日改訂済)	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	6月1日に、社長による環境マネジメントレビューを受けた。環境方針並びに環境目的・目標に変更はないが、前回(2014年5月28日)のマネジメントレビューで受けた改善及び指示事項である電気・ガス使用量評価方法を再考した。(生産所要時間から時間当たりの使用量と、その他の時間当たりの使用量を加算した算出による増減確認)	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。